

気候情報

2016年12月の日本の天候

- 月平均気温は東日本以南でかなり高く、沖縄・奄美では記録の高温となった
- 月降水量は東日本太平洋側と西日本でかなり多く、北日本太平洋側でも多かった
- 東北地方以南では月降雪量が少なかった

12月の天気概況

北日本では、月平均気温は平年並だったものの、気温の変動は大きかった。一方、東日本以南では、冬の気圧配置は長続きせず、寒気の影響を受けにくかったため、月平均気温はかなり高かった。特に、沖縄・奄美では、月平均気温平年差が+1.8℃と、12月として1位の高温（統計開始は1946年）となった。

上旬：北日本では気圧の谷の影響を受けやすく、旬降水量が多かった。特に札幌では10日の日最深積雪が65 cmに達するなど北海道日本海側を中心に大雪となった。一方、沖縄・奄美では、前線の影響を受けやすかったため、旬平均気温はかなり高く、旬降水量は多く、旬間日照時間は少なかった。

旬平均気温は、沖縄・奄美でかなり高く、東・西日本で高かった。北日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本と沖縄・奄美で多く、西日本日本海側で少なかった。東日本と西日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側、東日本太平洋側と西日本で多かった一方、沖縄・奄美で少なかった。北日本太平洋側と東日本日本海側では平年並だった。

中旬：旬のはじめは、北から西日本に強い寒気が流れ込み、冬の気圧配置が強まった。旬の終わりは冬の気圧配置が緩んで、全国的に寒さが緩み、日本海側でも晴れた所が多く、北日本日本海側では旬間日照時間がこの時期としてはかなり多くなった。沖縄・奄美では、寒気の影響を受けにくく、旬平均気温は高く、旬間日照時間も多かった。

旬平均気温は、沖縄・奄美で高く、北・東・西日本では平年並だった。

旬降水量は、東・西日本太平洋側でかなり多く、西日本日本海側で多かった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。北日本太平洋側と東日本日本海側で平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。東日本太平洋側と東日本日本海側及び西日本では平年並だった。

下旬：旬の中頃にかけては、低気圧が日本海から北日本を発達しながら通過しやすく、暖かい空気が流れ込みやすかった。このため、北日本太平洋側と西日本では旬降水量がかなり多く、特に西日本日本海側では旬降水量が平年比320%となり、12月下旬として1位の多雨（統計開始は1961年）となった。特に22日には、日本海の発達中の低気圧に向かって全国的に南よりの強い風を伴って気温が上昇し、東日本日本海側と西日本の各地で12月として記録的な高温となった。こ

の低気圧は23日には急速に発達しながら北日本を通過したため、北海道地方を中心に大雪となり、特に札幌では、23日の日最深積雪が96 cmに達し、12月として1966年以来50年ぶりに90 cmを超えた。

旬平均気温は、東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美でも高かった。北日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本太平洋側と西日本でかなり多く、北日本日本海側と東日本でも多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。

旬間日照時間は、北・西日本太平洋側では少なかった。北・西日本日本海側、東日本と沖縄・奄美では平年並だった。

12月の気候統計

月平均気温：東・西日本、沖縄・奄美でかなり高かった。北日本で平年並だった。

月降水量：東日本太平洋側、西日本でかなり多く、北日本太平洋側で多かった。沖縄・奄美では少なかった。北・東日本日本海側では平年並だった。

月間日照時間：北日本日本海側、東日本で多かった。北日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

12月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）
那覇 20.5 宮古島 21.6 など5地点
- ・月降水量多い方から（mm）
萩 180.5 山口 134.5
- ・月降水量少ない方から（mm）
稚内 34.5

2016年12月の平年差（比）図

